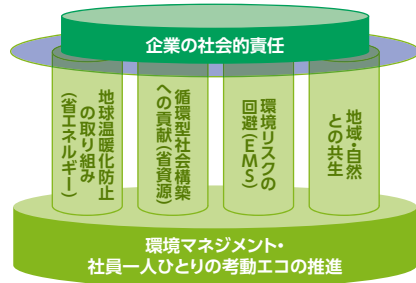


その他
環境

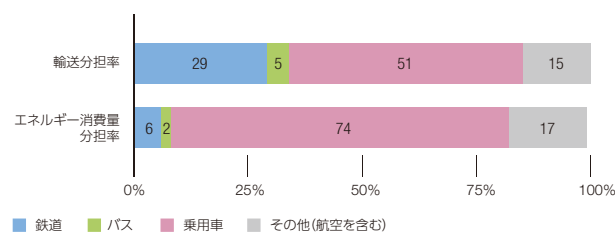
基本的な考え方

JR西日本は、グループ会社と一体となって地球環境保護に取り組み、持続的発展が可能な社会の実現に貢献します。



鉄道の環境優位性

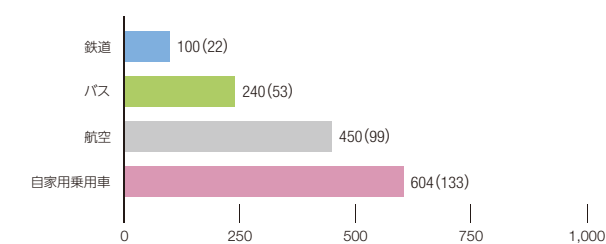
国内旅客輸送機関の輸送量とエネルギー消費量の構成 (2009年度: 全国)



資料: 国土交通省交通統計室「交通関連統計資料集」、GIO「日本の温室効果ガス排出量データ」より算出

単位輸送量あたりのCO₂排出量【旅客】 (2014年度)

鉄道を100とした場合の指数



出典: 国土交通省ホームページをもとに作成
()内の数値は実際のCO₂排出量[g-CO₂/人キロ]

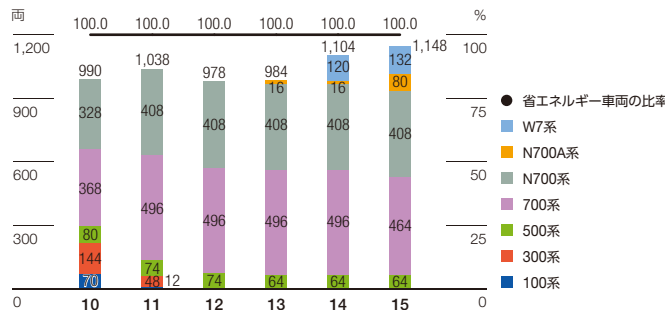
環境目標

鉄道の環境優位性をさらに高めるために、「中期経営計画2017」では、環境目標を掲げています。省エネ車両・設備の導入や技術開発、駅やオフィスにおける省エネ・省資源に取り組んでいます。

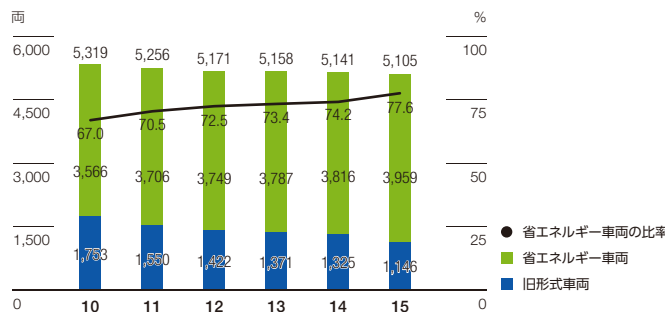
項目	2014年度実績	2017年度目標
エネルギー消費量(当社全体)	(2010年度比) △2%	△2%*2,3
同上(在来線運転用・駅オフィス等)	(2010年度比) △6%	△9%*2
省エネルギー車両比率	79%	83%
エネルギー消費原単位*1	(2010年度比) △3%	△3%*2,3
駅ごみ・列車ごみ(資源ごみ)リサイクル率	98%	96%以上*2
鉄道資材発生品リサイクル率	設備工事 99% 車両 91%	96%以上 91%以上

*1 原単位は車両キロあたりの消費エネルギー(MJ/車両キロ)としています。
*2 「中期経営計画」に掲載
*3 2017年度目標値は北陸新幹線開業によるエネルギー消費量の増加(推計)を考慮

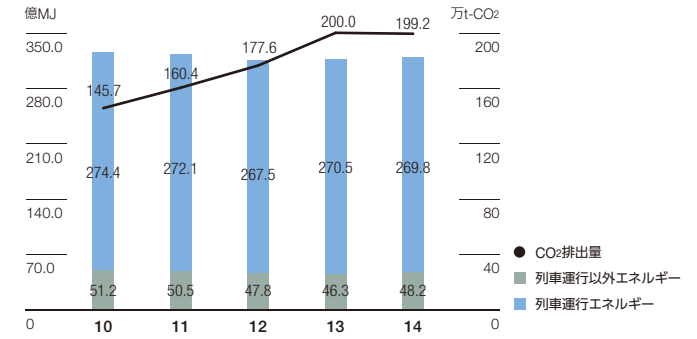
省エネルギー車両の導入推移(新幹線)



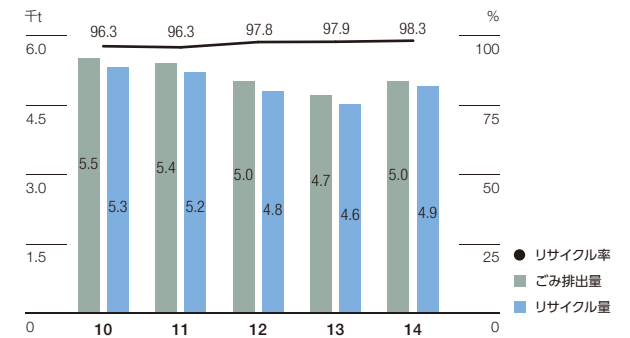
省エネルギー車両の導入推移(在来線)



事業活動におけるエネルギー使用量とCO₂排出量の実績



駅ごみ・列車ごみ(資源ごみ)のリサイクル状況の推移



鉄道資材発生品のリサイクル状況の推移

